

衆議院選挙 日本共産党 画期的な躍進！の力で安倍政権暴走ストップ！を！

(12月14日投票)

展望

NO. 185

(発行)

日本共産党
神戸製鋼委員会

{ 連絡先 }

(住所)

神戸市兵庫区
新開地3-4-20

(電話)

078-577-6255

(FAX)

078-577-2240

読者の未来を限らず

しんぶん 赤旗

日刊：月 3,497円

日曜版：月 823円

あげましくおめでとうです

日本共産党 議席 2.6倍増

総選挙で日本共産党は、比例区で20議席を獲得、小選挙区でも沖縄で勝利し、あわせて改選8の2.6倍となる21議席となりました。

この結果、衆議院で議案提出権を持てるようになり、安倍暴走政治にストップを掛ける強力な足場を築くことができました。神鋼で働くみなさんからも多くの支援をいただきました。これにこたえ公約実現にがんばります。

沖縄で完全勝利！

また、沖縄では「辺野古基地建設反対」の候補者が全て勝利し、県民を裏切った自民党候補者が全敗しました。

政策で一致し団結すれば、大きな勝利を得られることがわかり、日本全体の政治を変えるにはなにが大事かを教えてくれました。

兵庫区に共産党議員誕生

近畿では比例区で倍増の4人が当選し、兵庫から堀内照文(42才)議員が誕生しました。



私たちは昨年9月、共産党の山下芳生参議院議員秘書と一緒に神鋼本社へ安全問題で要請を行いました。これからは堀内議員とともに、こんなことが行えるようになります。要求実現の大きな力になります。

安倍政権の基盤は弱い

選挙結果をみて「自民圧勝」と評価する声もあります。しかし政党の力関係を端的に示す比例区の自民党の得票率は33%、有権者全体に占める割合はわずか17%です。自民多数は、大政党有利に民意をゆがめる小選挙区によって獲得した議席であり、国民の多数が支持したものではありません。

選挙後の新聞社世論調査でもそのことが表

れています(12月15日16日の朝日調査)

●今後、安倍首相が進める政策について、期待の方が大きいですが、不安の方が大きいですか。

期待の方が大きい・・・31%
不安の方が大きい・・・52%

安倍政権がこれから進めようとしているのは、消費税10%、「アベノミクス」、集団的自衛権、原発再稼働、沖縄新基地、そして憲法改悪・・・どれをとっても国民多数の意思に背くものばかりです。

日本共産党は頑張ります

日本共産党は、新しい国会で、総選挙で獲得した新たな議席をフル活用して大奮闘する決意です。4月の統一地方選に全力を挙げるとともに、あらゆる分野で国民との共同をさらに発展させ、国会内外の力で安倍政権の暴走を包囲し、日本の政治を変えるために頑張ります。今後ともご支援お願いいたします。

日本共産党に入党し、日本を変える活動に参加しませんか？

今、国民の間で日本共産党に対する関心が広がっています。週刊誌アエラは「衆院選で野党が精彩を欠く中、唯一目立ったのは、あの政党の躍進だった。共産党・・・もはやこの道しかない。そう思う若者たちが増えている」と特集しています(12月29日号)。

●日本共産党とはどんな政党でしょうか？

●創立から92年、一貫して侵略戦争反対と主権在民を主張し続けてきた政党です。

●今、日本社会では格差が広がり、誰もがこれでもいいのかと将来への不安がいつぱいあります。この現状を国民本位の政治に切り換えて打開しようとしている政党です。

●草の根で活動し、国民のみなさんと力をあわせて、命と暮らしを守るために汗を流している政党です。

自分の好きなこと・やりたいことを、世のため人のためにも生かせる道がここにありませんか！共産党に入っていっしょに活動しませんか！最寄の黨員や下記の電話・メール・ホームページに連絡ください。

みなさんの声をお寄せください。情報源はキチンと守りますので、ご安心ください。

Tel: 078-577-6255 Fax: 078-577-2240 メール: info@jcp-shinko.jp ホームページからも送れます (http://www.jcp-shinko.jp)。



安全で安心して働ける職場づくりをめざして



情報を公開し職場の叡智を集める

昨年、死亡を含む重大な労災が発生し、神戸製鉄所は兵庫労働局から「安全管理特別指導事業場」に指定されました。その後、「安全衛生改善計画」が作成されました。ところが、この肝心の「計画」が職場全員には知らされていません。神鉄では、その後も休業災害2件、不休災害1件が発生。軽微小災害、微小災害も多発しています。

安全で安心して働ける職場づくりには、全関係者の叡智を集めることが必要であり、そのためには情報の公開が前提です。「計画」の内容と実施状況を開示することを求めます。

十分な設備対策を

11月の鉄鋼事業部門生産委員会では、災害の原因として「人と動くものの隔離の不足」「設備を止めずに近づいた」ことが指摘されています。対策として「立入許容限界の徹底的な見直しと改善」が言われていますが、実際は柵の設置といった簡単な対策です。高砂製作所での取り組みとして紹介されている「インターロック」といった付加的設備対策は、実施されていません。人はミスを犯すとの前提に基づく設備対策が必要です。

ゆとりある要員と一人作業の解消を

生産委員会では「危険軽視や時間を焦る雰囲気」が「設備を止めずに近づく」遠因と指摘されています。職場では、高水準の生産や安定生産を阻害している設備トラブルの多発等で時間外労働が増え負荷が増えています。仕事量に対して要員が不足していることは、有給休暇取得率の低さにも表れています。計画の中の上工程の加古川集約の過程では、神戸と加古川の二重操業も想定され、要員不足がさらに深刻化します。この状況が続けば、災害が多発する事態になりかねません。ゆとりをもった操業ができ同僚に気兼ねなく年休を取得できる、また一人作業（特に緊急の課題として5年間の教育期間中の若者の一人作業）をなくす要員の配置を求めます。

詰碁

九段 結城 聡
黒先 手順が伏せです。
(10分27級)

詰将棋

七段 伊藤 果
黒先 手順が伏せです。
(10分27級)

詰連珠

八段 岡部 寛
黒先 四の連続で勝ちます。
(10分27級)

すべての人に賃上げを

若者層と現場監督職に限定

昨年11月、「2015年度賃金改善について」会社から組合に提案がありました。これは、昨年春闘時の、「2015年4月に、組合員一人平均月額2千円程度の財源投入」という会社の回答を具体化したものです。提案内容は、財源投入先は「若年層」と「現場監督職」に限ったものでした。

対象にならなかつた人の声

財源投入の対象にならなかつた中堅層からは「若手の指導も担いながら職場の中心的な役割を担っている中堅層にも目を向けて財源投入してほしい」と（製造現場）、「グローバル化の進展や効率的な業務遂行が求められる等、責任や負担も大きくなっている。中堅層が対象にならなかつたのは非常に残念（スタッフ）」というもつともな声があがっています。

すべての人に2千円の賃上げを

全員にいき渡るベースアップは2001年の千円アップを最後にありません。物価値上げ、消費税増税、社会保険料負担増などで、実質賃金は下がり、労働者の生活は苦しくなる一方です。会社には全てのの人に賃上げできる内部留保が十分にあります。労働者の頑張りに応えるためにも内部留保を活用し、すべての労働者に賃上げを！

代表的な内部留保である剰余金は13・3末→14・3末で、資本剰余金（831億円→1007億円）利益剰余金（2532億円→3223億円）で合計867億円の増（連結決算）

石炭火力の事業継続が可能か？

12月15日に公表された神鋼の石炭火力の「計画段階環境配慮書」では、温室効果ガスの排出量の記載はありません。EUは2030年に温室効果ガス排出を90年比で40%以上削減する目標を決定。国連の気候変動に関する政府間パネル(IPCC)は11月、気温上昇を抑えるために各国政府に迅速な実行を迫るレポートを公表。今後、世界的にCO2発生量の削減が求められるなかで、CO2発生量が一番多いと世界的に批判の多い石炭火力で2021年から15年間もの事業を継続できるでしょうか。火力発電事業を進めるのであれば、真岡と同じCO2発生量が少ない天然ガス燃料を使用すべきではないでしょうか。

この1年間で増えた867億円のわずか1%を賃金に回すだけで、関係会社を含む連結従業員36,000人に月2,000円の賃上げが出来ます。